



# 劇 より も お 話

長 尾 豊

## 一

児童の劇演出が劇よりもむしろお話であり、その根柢は劇であるとしても、取扱ひの點におひては、多くお話から指示され、解決されるものであ

ることは、児童の生活としての劇やお話をはなれ／＼のものとして扱はないといふばかりでなく、解り惜い劇といふもの、むづかしい劇演出といふものを、最も児童的に處理してゆける道と思はれる。

演すべき材料は、聞いたお話に限られず、幼稚園内の小さい出来事や、自然界の観察、動植物の摸倣擬態、もしくは大人の世界の眞似など、いろ

／＼あらうが、演せられてゐるものを見ると、それは多く児童の想像により、解釋によつて、りツばに児童化され、児童の生活化されてゐる。言換へればお話化されてゐるのである。

すると幼兒の劇演出としてのお話あそび、お話ごッこは、これらのいろいろな要素を取り入れ、さまで／＼な接觸面をもつて演せられるものと考へられぬこともない。又その材料を探る上にも、生新たな日常の出来事や、自然界の観察なども、非常に興味のある事實には違ひないが、それを劇化し自由に演出する場合には、活潑な想像と、奇警な観察によつて、十分に児童化されることもある。

れど、又その反対の場合がないとも限らない。餘りに生々しい事件や、細かい觀察は、ごく僅少な人(指導者をも含めて)の興味しか惹かないこともあらう。

多數が喜んであそぶ劇演出のやうなものには、此の共同性といふことが大切である。お話あそびお話ごっこは演すべき材料として、これらのいろ／＼の要素を巧みに採り入れることが出来、さまで接觸面を自在に活用しつゝ、なほ其所に十分の兒童化なり、普遍化なりが可能なわけになる。

## 二

西洋の兒童劇がたやすく演出され、幼い子供達にもそのまま喜んで遊ばれるのは、その材料となる童謡なり、童話なりが、十分教育的に洗練されてゐて、しかもその素材が十分兒童に親しみもあるれば、容易に理解されるものだからであらうと思はれる。このことは童謡讀本から童話讀本、童話

讀本から劇化讀本と變つて來た読み物の方からだけでも觀察することが出来る。

そこで童謡なり、童話なりのうちに、すでに試練を経、教育的にも考へられて來たものが、今度は幼兒の劇の材料と成つて演出されるのであるから、これは直ちに演出されて、少しの障礙も起り得ないわけであり、又幼い子供達の手によつて容易に動作化され、動く畫といふ意味での舞臺化されるわけである。

これをわが國の兒童劇の脚本から先づ調べてかかるのにくらべれば、その間に大へんな違ひがあると思はれる。それでも兒童の活潑な想像力、奇警的觀察、摸倣、活動がそのお話興味の上に觸れた時、其所に驚くべき表現の力が働いて、しばしくわれく大人に舌を捲かせることがある。

けれどもお話ごっこ、お話あそびはたゞそれだけのものではない。人に見せるための兒童劇、も

しくはたゞ遊べばよい、言はゞ一日の時間割の中に、ひとつはあつた方がよい劇ごっこ、劇あそびであるならば、あるひはそれだけでも好いか知れないが、教育演劇の一科としての戯曲遊戯であるお話をそびとして考へると、只それだけで済ますには餘りに勿躊ないやうな氣がする。

子供が伸びるものである「發達」といふことが教育の別名のやうに思へる時、劇演出がたゞのお遊戯として過ぎてしまふことはどうかと思はれるお話にもお話段階があるやうに、劇にもその材料なり、演出の方法なりに段階がなければならぬわけである。と言つても子供を上手な役者に仕上げたり、年の割にはむづかしい物をやるとか、高尚なことが分ると言つて悦に入るわけではない

うが、關せずえんとすましてゐる指導者がある。こんな事は家庭では見られない。どんな非教育的な家庭でもきつと干渉する。又そのために児童が過大なる負担に苦しむ場合もないことではない。無干渉も干渉も共に宜しくないと思ふ。放任は結構であるが、助力は必要である。

「かうせよ。」「ああせよ。」といふ指導者がいけないとしても、児童がどうして好いか分らぬ時、又ごく僅少の暗示で容易に、且つ美しく動ける時、全体の統一がとれて遊戯が均齊され、調和されたものになる時、黙つて見てゐるのも、気がつかないのも同様にいけないのでと思ふ、危険を除き、困難を去り、披勞を防ぐやうなことまで、干渉と混同してゐるのは最も悪い指導者と思はれる。

こゝで指導者の重荷を軽減する手段のひとつを考へれば、それは演出について十分考へて掛かるか、さもなくば演出と指導を全然切離して扱ふか

### 三

「大人は一切無干渉」といふことをまつ直に取つて、子供が何を演じようが、どんな演じ方をしよ

## 質問欄

である。確たる演出案も持たず児童に、のぞんで、偶發的な——それゆゑに更に又甚だキヤブリシヤスな——指示を與へることは、演者に取つてこんな有難迷惑な話はない。

材料をお話から探ることも、確かに指導者の負担を軽くすることに違ひない。演技は理解を通じて生まれる。親しみがあり、理解されてゐるものであれば、児童は自分のこととして働く。その場合解釋が全く間違したものならば、傍からそれを正すことも出來ようが、演者の解釋の間違によつて、それ／＼違つた演技をするならば、演者の個性を重じて、その違ひを眺め、又必要があれば外の子供達と一緒にそれを見て、注意をうながすことも出來よう。

朝鮮の幼稚園に在勤の方より左の如き御希望があり他にも同様の御希望が多いから本誌に質問欄を特設いたします。質問に應じそれ／＼専門家の意見を載せる豫定であります。



拜啓貴會御發行の『幼兒の教育』を豫ねて愛讀致し居り候處かかる國境の果に居りながらいろ／＼と新しき事に御導きを賜はり誠にこの上なき好機道にたづさはる者の爲め御誌上に質問欄を御設け下され毎月御導き下さらば誠に幸福この上なしと希望致し居り候まゝ御手數をも省みず右御願ひ申上げ候

上げ候